

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	つくし浅香		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		～ 2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		～ 2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳だけでなく、送迎時の申し送りや電話、メールなどでも保護者とこどもの様子や変化、成長などを伝えあっている。 学校での様子、自宅での様子など、引き継ぎの際に得た情報はミーティングノートなどを使用して、職員間で情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校へのお迎えの際には、学校での様子や支援方法について教職員の方から情報をいただき、自宅以外でのこどもの姿も把握するよう努める。 また、こどもが安心して過ごせるよう、学校と事業所での支援方法をできる限り統一するよう取り組む。
2	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 集団での活動が難しい場合は個別での場所を作ったり、応接室を個別の部屋として使用している。 その日の状況により、静養室を使用しながら活動場所をわけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 静養室の広さは十分にあるものの、複数のこどもが同時に使用する場合もあるため、より落ち着いて過ごせるよう、仕切りの設置等を検討する。
3	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> その日の利用人数やこどもの状態に合わせて、基準の配置人数よりも多く職員の配置をしている。 児童発達支援管理責任者も必要に応じて支援に入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 一対一での対応が必要な場面が増えているため、その日の利用人数やこどもの状態に応じて必要な職員を配置できるよう、今後も人材確保に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士が交流する機会を設けることができていない。 きょうだい向けのイベントを開催できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流に関するニーズを把握するための調査を実施し、希望が一定数あった場合には、保護者会などの開催を検討する。 きょうだい同士の交流に関するニーズを把握するための調査を実施し、希望が一定数あった場合には、家族参加型のイベントなどの開催を検討する。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に参加したり、公園に行った際に地域のこどもと関わることはあるが、放課後児童クラブや児童館との交流はできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事には、今後も積極的に参加する。 地域の行事や公園での活動時には、地域のこどもと関わる機会が持てるよう、無理のない範囲で支援する。
3	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意向等の把握はできているが、その意向を全て満たすまでには至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげられるよう努める。 支援内容などについて、保護者から伺った意向については、できるだけ早く対応し、支援に反映するよう努める。